

立正大学国際交流センター主催

2026年度

春期研修（海外）
参加者募集



／応募受付期間／

10月13日(火) 9:00～

10月16日(金) 14:00

募集要項・詳細はこちら！

ポータルサイト

>キャビネット

>5.留学支援

>1.留学・語学研修

>3.【短期】春期研修



問い合わせ先

品川国際交流課
熊谷国際交流課

☎ 03-3492-0377
☎ 048-536-6011

✉ oinet@ris.ac.jp
✉ kint@ris.ac.jp

写真(2025年度語学研修参加学生撮影)：テカポ湖（ニュージーランド）

春期研修 参加決定までの流れ

9月

①研修を選ぶ

各研修紹介ページを参考に、参加する研修を選びます。
今年度実施予定の研修の説明動画について
右記のQRコードから見られます。



10月

②申し込み

ポータルサイトより申込書をダウンロードし、
入力の上提出してください。

提出先：<https://forms.cloud.microsoft/r/W63P9EsRkq>

申込期間：10月13日（火）～
10月16日（金）14：00厳守

※個人企画型への応募に必要な推薦書は、
10月16日（金）14：00までに、所属キャンパスの
国際交流センターへ提出（窓口またはメール）いた
だくよう先生に依頼してください。

10
・
11
月

③学内面接

現地派遣型のプログラムにつきましては、学内面接を
行います。申込時に面接可能な日時を回答してくださ
い。

申込内容を確認後、10月19日（月）にポータルサイ
トのお知らせ「学生生活」にて面接日時をご連絡しま
す。

◆面接について

日程：10月22日（木）、10月23日（金）、
10月26日（月）、10月27日（火）

（詳細な日時は申込フォームにてご確認ください）

実施方法：オンライン（Teamsにて実施予定）

④選考

提出された書類と面接結果をもとに選考を行います。
選考結果は、ポータルサイトで通知します。

⑤参加決定

参加決定後は、大学の行うオリエンテーションへの参
加や期日までに書類を提出すること、指定された研修
報告書の作成などが義務となります。

プログラム一覧

実施形態	研修名		期間
現 地 派 遣	語学研修	①オタゴ大学（ニュージーランド）	4週間
	文化研修	②サイアム大学（タイ）	2週間
	海外 ボランティア	③海外ボランティア （フィリピン、マレーシア）	9～11日間
	海外 インターン シップ	④海外インターンシップ （カンボジア）	15日間
	個人企画型	⑤個人企画型	2～6週間

※1 渡航費等は、参加費に含まれません。

※2 参加費はレートによって変動する可能性があります。

※3 奨学金は給付型です。返還の必要はありません。

※4 大学の指定する日時に出国・帰国をします。滞在期間の延長は一切認めません。

①【語学研修】 オタゴ大学（ニュージーランド） *University of Otago*

こんな学生にオススメ！

- 英語圏で語学を集中的に学びたい！
- 他の立正大学の学生と参加したい！
- 落ち着いた環境で英語を勉強したい！



実施形態	現地派遣	期間	2月16日（火）～ 3月21日（日） （約4週間）
語学条件	なし	語学レベル	初中級～
費用	約910,000円	研修費	約530,000円
		往復渡航費	約380,000円 ※国内空港使用料・空港サービス使用料・各種追加料金・燃油サーチャージ含む
奨学金（給付型）	300,000円	募集人数	最大15名
対象	本学に所属する学部生（休学中の学生を除く） <u>学部4年生は応募前に国際交流センターへご相談ください。</u>	単位付与	学部による

研修費に含まれる費用（予定）

現地研修費、現地宿泊費（ホームステイ）、食費（1日3食）、ダニーデン空港⇄滞在先送迎費（往復）、現地旅行保険料、研修手続き・サポート料

研修費以外にかかる費用（予定）

往復渡航費（国内空港使用料・空港サービス使用料・各種追加料金・燃油サーチャージ含む）、海外旅行傷害保険料、査証（ビザ）申請費用、旅券（パスポート）印紙代、個人的諸経費（条件に含まれない食費および自由行動中の食費、電話代、お小遣い等）、超過手荷物運搬料、研修日程以外に伴う費用、滞在先から研修先までの通学費

※1 参加費はレートによって変動する可能性があります。

※2 費用内訳は現時点での予定です。

今後の状況によっては、変更や追加費用が発生する場合もあります。

※3 大学の指定する日時に出国・帰国をします。滞在期間の延長は一切認めません。

①【語学研修】 オタゴ大学（ニュージーランド）

授業について

時間割		月	火	水	木	金
	AM	General English	General English	General English	General English	General English
	PM	General English /IELTS/NZ Studies	General English /IELTS/NZ Studies	General English /IELTS/NZ Studies	General English /IELTS/NZ Studies	General English /IELTS/NZ Studies /Out of Class Activity
特徴	・ニュージーランド最古のオタゴ大学で学ぶ英語のプログラム。サポート体制も充実しており、広大なキャンパス・落ち着いた環境の中で、英語を学ぶことができます。到着後のオリエンテーションでは、スコットランドの面影が残る学生の街・ダニーデンを巡ります。 ・渡航前にオンラインテストを受け、その結果をもとにクラスは構成されます。クラスは初級から上級までの5段階の展開かつ少人数制（1クラス最大18名）なので、自分のレベルに合った環境で学習することができます。 ・4週間で92時間の授業と20時間相当の個人学習（宿題等）に取り組みます。 ◆General English（全員） 午前中は、レベル別のクラスに分かれて、読む・書く・聞く・話す・文法・語彙と言った一般英語の基本スキルをバランスよく学びます。また、英語の発音や流暢さのトレーニングなど、実践的な英語コミュニケーションスキルも学ぶことができます。 ◆IELTS/NZ Studies（Intermediateレベル以上のクラスのみ） 午後は、IELTS試験対策や、ニュージーランドの歴史・文化について学びます。※ElementaryおよびPre-intermediateレベルのクラスは、午後もGeneral Englishを行います。					
注意事項	・大学の指定する日時に出国・帰国をします。滞在期間の延長は一切認めません。 ・キャンセルや辞退は原則受け付けません。 <u>辞退する場合は、キャンセル料が発生する可能性があります。</u> ・パスポートを持っていない学生はできるだけ早く申請してください（申請方法については外務省のホームページを参照）。持っている学生は、パスポートの有効期限が、2027年7月以降（パスポート残存有効期間：入国時3ヶ月+滞在日数以上必要）であるかどうか必ず確認してください。 条件を満たしていない場合は、パスポートの更新が必要となります。					

②【文化研修】 サイアム大学（タイ）

มหาวิทยาลัยสยาม



こんな学生にオススメ！

- 観光産業やビジネスに興味がある！
- グループでツアー企画に挑戦したい！
- タイの歴史・文化・食事・言語に興味がある！

実施形態	現地派遣	期間	2月7日（日）～ 2月20（土）（予定） （約2週間）
語学条件	なし 授業は全て英語で行うため、 学習意欲のある学生を求める	語学レベル	初中級～
費用	往復渡航費 他	研修費	無料
		往復渡航費	約150,000円 ※燃油サーチャージ・海外 空港諸税・国内空港使用 料・各種追加料金含む
奨学金 （給付型）	50,000円	募集人数	最大2名
対象	本学に所属する学部生 （休学中の学生を除く）	単位付与	なし

研修費に含まれる費用（予定）

授業料、プログラム参加料、施設使用料、活動費、空港送迎費

研修費以外にかかる費用（予定）

往復渡航費（燃油サーチャージ・海外空港諸税・国内空港使用料・各種追加料金含む）、海外旅行傷害保険料、自宅～空港間の往復交通費、現地ホテル宿泊費（サイアム大学手配：約43,000円（一人部屋））、現地交通費、査証（ビザ）申請費用（日本国籍以外の場合）、旅券（パスポート）印紙代、個人的諸経費（食費、電話代、お小遣い等）、超過手荷物運搬料、研修日程以外に伴う費用、滞在先から研修先までの通学費など

※1 金額はレートによって変動する可能性があります。

※2 費用内訳は現時点での予定です。

今後の状況によっては、変更や追加費用が発生する場合があります。

※3 大学の指定する日時に出国・帰国をします。滞在期間の延長は一切認めません。

②【文化研修】 サイアム大学（タイ）

授業について

受講科目 (昨年度例)	科目名	講義内容
	Concept of Tourism Industry	観光産業の基礎について
	Concept of Hotel Industry	ホテル産業の基礎について
	Herbal Medicine in Thailand	タイのハーブについての講義と実践
	Introduction to Tourist Places in Thailand	タイの主な観光地とその背景に関する講義
	English for Tour Guide	観光ガイドに必要な英語を学習します。
	Fruit Carving	タイの伝統的なフルーツカービングの講義と実践 実際に果物を彫ってみます。
	Thai Massage	タイ式マッサージに関する講義と実践
	Field Trip	サイアム大学日本語コミュニケーション学科(JFC)の 学生との課外学習
	Thai Dance	タイの伝統舞踊の講義と現地学生を交えた実践
	Thai Language	生活に必要な初級タイ語に関する講義
	JFC Event	サイアム大学日本語コミュニケーション学科(JFC)の 学生との交流会
	Food Culture in Thailand	タイの食文化に関する講義
	Thai Cooking Class	タイ料理の調理実習
特徴	・ “微笑みの国” × “親日国” のタイに、約2週間滞在します。 ・ 2023年に創立50周年を迎えたサイアム大学で、タイの観光産業について英語で学びます。 ・ タイの政治、経済、文化の中心地バンコクに滞在し、観光に関する講義とグループ別ツアー企画をとおして、実践的なコミュニケーションスキル・ビジネススキルを身につけます。 ・ サイアム大学で日本語を学ぶ在学生との交流の場が用意されており、異文化交流体験ができます。 ・ 現地ではサイアム大学が手配した近隣のホテルに滞在します。	
注意事項	・ 大学の指定する日時に出国・帰国をします。滞在期間の延長は一切認めません。 ・ キャンセルや辞退は原則受け付けません。 辞退する場合は、キャンセル料が発生する可能性があります。 ・ パスポートをすでに持っている学生は、パスポートの有効期限が、2027年9月以降（パスポート残存有効期間：入国時6ヶ月以上必要）であるかどうか必ず確認してください。条件を満たしていない場合は、パスポートの更新が必要となります。持っていない学生は、できるだけ早く申請してください。申請方法については外務省のホームページをご参照ください。 ・ 授業やプレゼンテーションは全て英語で行います。英語力は不問ですが、積極的に発言し、学習意欲のある学生を求めています。 ・ 本学以外の学生も参加します。 ・ 本研修は、日本およびインドネシアにあるサイアム大学の協定校に在籍する学生を対象に実施するプログラムです。	

③【海外ボランティア】 海外ボランティア 実施：CFFジャパン

こんな学生にオススメ！

- 海外で英語を使って活動したい！
- 現地でのリアルな生活を知りたい！



実施形態	現地派遣	期間	プログラムによる (9～11日間)
語学条件	なし	語学レベル	日常会話ができるレベル
参加費	プログラム参加費 ＋ 往復渡航費	研修費	10月上旬確定 (参考：2026年度夏期148,000円)
		往復渡航費	プログラムによる ※注意事項参照のこと
奨学金 (給付型)	最大100,000円 (プログラム・期間による)	募集人数	最大8名
対象	本学に所属する学部生 (休学中の学生を除く)	単位付与	なし

参加費に含まれる費用（予定）

ボランティア参加費、諸オリエンテーション費用、
プログラム期間中の滞在費・食費

参加費以外にかかる費用（予定）

往復渡航費（国内空港使用料・空港サービス使用料・各種追加料金・燃油サーチャージ含む）、海外旅行傷害保険料、査証（ビザ）申請費用（必要な場合）、旅券（パスポート）印紙代、個人的諸経費（条件に含まれない食費および自由行動中の食費、電話代、お小遣い等）、超過手荷物運搬料、研修日程以外に伴う費用、現地交通費

※1 参加費はレートによって変動する可能性があります。

※2 費用は現時点での予定です。今後の状況によっては、変更や追加費用が発生する場合もあります。

※3 渡航先や参加するプログラムにより、参加費に含まれる費用・含まれない費用が異なります。詳細は、各プログラムのHPをご確認ください。

※4 大学の指定する日時に出国・帰国をします。滞在期間の延長は一切認めません。

③【海外ボランティア】 海外ボランティア

ボランティア活動について

渡航先 活動内容	①フィリピン（マニラ周辺およびルソン島中北部）スタディツアー ②フィリピン（パンガシナン州スアル）ワークキャンプ ③マレーシア（ボルネオ島サバ州パパール）ワークキャンプ
※本プログラム実施団体：CFFジャパン ※申込希望者は、CFFジャパンのホームページ （ https://cffjapan.org/program ）でプログラム概要を確認すること。 ※次ページのスケジュールも確認すること。	
プログラム 日程	①フィリピン（マニラ周辺およびルソン島中北部）スタディツアー ・2月4日（木）～2月12日（金） ②フィリピン（パンガシナン州スアル）ワークキャンプ ・2月15日（月）～2月25日（木） ③マレーシア（ボルネオ島サバ州パパール）ワークキャンプ ・2月26日（金）～3月7日（日） <u>※申し込みの際は、上記プログラムの中から選択して入力してください。</u> <u>※出発日・帰国日の関係で日程は2、3日前後する可能性があります。</u> <u>※費用など詳細は10月上旬に確定する予定です。</u> <u>（参考）2026年夏期プログラム参加費：148,000円</u>
特徴	・海外で社会に役立つ活動ができます。 ・ボランティアを通して、現地の文化を学ぶことができます。 ・自分で考え、行動する力が向上します。 ・プログラムリーダーと同じ便での渡航となります。 （指定された行程での渡航となります）
注意 事項	・大学の指定する日程で出国・帰国をします。 <u>滞在期間の延長は一切認めません。</u> ・参加決定後は、プログラム実施団体のCFFとのやり取りや航空券の手配等、各自で手続き・準備を進めていただきます。 決められた期限厳守し、余裕を持った行動を心がけてください。 ・CFFジャパンでは、上記3プログラムの他にも様々なプログラムを <u>実施しておりますが、上記3プログラム以外に参加の場合、</u> <u>国際交流センターからの奨学金は支給されません。</u> ・CFFジャパンが指定する海外旅行保険に加入していただきます。

③【海外ボランティア】

海外ボランティア フィリピン（①・②）

①	スタディツアー フィリピン（マニラ周辺およびルソン島中北部）	
スケジュール （イメージ）	出発前	事前研修（全2回） 参加者同士の顔合わせ、「フィリピンについて」「子ども」「ボランティア」などについて、話し合いを行います。
	1日目	午後、マニラのホテルに集合。
	スタディツアー 開始！	貧困地域やごみ集積場で生活する人々、戦争記念碑等、毎日違う訪問地を訪れ現地のことを学びます
	ホームステイ	ホームステイでは、いくつかのグループに分かれて農村部の家庭に滞在します。
	交流	現地の子どもたちと遊んだり、村の人々と交流します。
	シェアリング	毎晩、参加者同士でその日のテーマに沿った話をします。
	9日目	帰国
②	ワークキャンプ フィリピン（パンガシナン州スアル）	
スケジュール （イメージ）	出発前	事前研修（全2回） 参加者同士の顔合わせ、「フィリピンについて」「子ども」「ボランティア」などについて、話し合いを行います。
	1日目	午後、マニラのホテルに集合。
	ミニ スタディツアー	貧困地域やごみ集積場で生活する人々、戦争記念碑等を訪問し現地のことを学びます。
	子どもの家に 到着	フィリピンの青年（現地キャンパー）と初対面！
	ワーク	現地キャンパーとともにワーク。参加者自らが考え、体を動かします。 みんなで協力する建設作業が中心です。
	セミナー	戦争と平和、自分自身、社会などについてセミナーを行います。
	交流	現地の子どもたちと遊んだり、村の人々と交流します。
	11日目	帰国

③【海外ボランティア】 海外ボランティア マレーシア（③）

③	ワークキャンプ マレーシア（ボルネオ島サバ州パパール）	
スケジュール （イメージ）	出発前	事前研修（全2回） 参加者同士の顔合わせ、「マレーシアについて」「子ども」「ボランティア」などについて、話し合いを行います。
	1日目	午後、マレーシア・コタキナバルのホテルに集合。
	ミニ スタディツアー	貧困地域やごみ集積場で生活する人々、戦争記念碑等を訪問し 現地のことを学びます。
	子どもの家に 到着	マレーシアの青年（現地キャンパー）と初対面！
	ワーク	現地キャンパーとともにワーク。参加者自らが考え、体を動か します。 みんなで協力する建設作業が中心です。
	セミナー	戦争と平和、自分自身、社会などについてセミナーを行います。
	10日目	帰国

④【海外インターンシップ】 カンボジア サムライカレー

ដំណើរទស្សនកិច្ចសិក្សាកម្ពុជា



こんな学生にオススメ！

- ビジネスのすべてを体験（スポーツ・観光ビジネス・地方再生）！
- 就活について学びたい！
- 自分たちで稼いだお金で社会貢献したい！
- 過去4年で16名の立正生が参加！

実施形態	現地派遣	期間	2月21日（日）～ 3月7日（日） （15日間）
語学条件	なし	語学レベル	なし
費用	約318,000円	研修費	198,000円
		往復渡航費	約120,000円
奨学金 （給付型）	120,000円	募集人数	最大4名
対象	本学に所属する 学部1年生～4年生 および大学院生 （休学中の学生を除く）	単位付与	なし

研修費に含まれる費用

宿泊費/店舗運営予算/業務時間中の現地交通費

研修費以外にかかる費用（予定）

航空券（航空運賃、空港税、空港使用料、燃油サーチャージ、空港アシスト代）/食費・生活費/ビザ代（35USドル）/日本国内交通費/アンコールワット入場料（希望者）

※1 参加費はレートによって変動する可能性があります。

※2 費用内訳は現時点での予定です。今後の状況によっては、変更や追加費用が発生する場合があります。

※3 大学の指定する日時に出国・帰国をします。滞在期間の延長は一切認めません。

④【海外インターンシップ】 カンボジア サムライカレー

スケジュール (イメージ)	2月21日	入国、現地スーパー買い出し
	2月22日	市内視察、現地盲学校訪問
	2月23日	マーケティング講義、現地店舗リサーチ
	2月24日	現地日本語学校ヒアリング、試食会準備
	2月25日	試食会、販売準備
	2月26日	販売準備、試し売り
	2月27、28日	販売：サッカー試合会場（27日）、ローカルマーケット（28日）
	3月1、2、3日	休暇
	3月4日	就活・プレゼン講座、小学校 or 障害者施設見学
	3月5日	現地盲学校訪問、プレゼン発表
	3月6日	最終プレゼン、自由時間
	3月7日	帰国
特徴	・ 今回の開催地「シェムリアップ」は、カンボジアのプロサッカーチーム（アンコールタイガーFC）と共催なので、スポーツエンタテインメントビジネスについて学ぶこともできます。また、ホテル経営（宿泊場所もアンコールタイガー経営のホテルです）や現地ローカルビジネスも手がけているので、観光や地方再生などに興味がある学生にもおすすめです。今回の日程では、販売日にサッカーの試合があり、試合会場で販売ができます（語学力不問）。 【参考】サムライカレープロジェクトHP サムライカレーSDGs 立正大学	
注意事項	・ スケジュール内容が変更になる場合があります。 ・ 大学の指定する日時に出国・帰国をします。滞在期間の延長は一切認めません。 ・ キャンセルや辞退は原則受け付けません。 辞退する場合は、キャンセル料が発生する可能性があります。 ・ 航空券は国際交流センターにて手配予定です。 ・ ビザは現地空港にて取得します（申請料30ドル）。	

⑤【個人企画型】 個人企画型

こんな学生にオススメ！

- 自ら課題を見つけ、自分で研修をデザインしたい学生



実施形態	現地派遣	期間	2月2日（火）～ 3月28日（日） の間の2～6週間
語学条件	現地で研修を行うのに 必要な語学力	語学レベル	企画による
参加費	企画内容により 異なる参加費 ＋ 往復渡航費	研修費	企画内容による
		往復渡航費	渡航先による （各自で予約）
奨学金 （給付型）	最大250,000円 ※金額は研修地域、内容、 期間等を考慮して決定。	募集人数	最大2名
対象	本学所属の 学部1年生～4年生 および大学院生 （休学中の学生を除く）	単位付与	なし

過去の事例

- ・発展途上国と先進国の保育の比較調査（カナダ）
- ・チェコと日本のビール消費量の調査（社会心理学の視点から）（チェコ）
- ・ロシア語語学学校のプログラム参加（ラトビア）
- ・心理士やカウンセリング制度の調査（ドイツ、イギリス）
- ・作家Sarah Orne Jewettとその作品に対する調査（アメリカ）

特徴・ 注意事項	研修の計画、航空券や宿泊施設の手配等、すべて学生自身で行います。下記条件を満たす有意義な活動や、学習・調査・研究を自主的に実施する計画が対象となります。 ①研修の企画、航空券の手配や宿泊施設の手配等、すべての渡航準備を学生自身で行うこと。 ②研修計画が安全であること（<u>計画に不備がある場合、修正していただきます</u>）。 ③「海外個人研修（個人企画型）における安全の指針」を遵守すること。※次ページ参照
-------------	---

⑤ 【個人企画型】 個人企画型

【海外個人研修生(個人企画型)における安全についての指針】

本指針は、本学の学生が、海外個人研修制度による海外研修過程で、犯罪の被害に遭うこともなく、健康を損ねることもなく、また精神的被害を受けることもなく有意義な海外研修を享受できるように、十分に配慮すべき事項について説明している。海外研修の計画書を作成する際、下記の注意事項を遵守すること。

1. 訪問する国は、外務省のホームページで渡航制限が出ていない国であり、外務省の海外安全情報の危険レベルがⅠ以下の国であること。また、外務省海外旅行登録システム「たびレジ」に事前に登録すること。
2. 訪問国が安全な国であったとしても、危険な地域があるので、そのような危険地域には単独で行かないこと。あるいは必ず地元の人の案内をつけること。見知らぬ人の案内には頼らないこと。
3. 宿泊の予約は事前に行っておくこと。宿泊施設は安全なところであること。ホテルも犯罪者グループに狙われている場所である。
4. 空港に夜中に到着する便を選ばないこと。
5. マリファナが合法の地域でも、日本国民が使用した場合、日本の大麻取締法により処罰の対象となる。決して使用しないこと。
6. 健康に配慮したスケジュールであること。ハードなスケジュールは、健康上、問題を引き起こす可能性があるばかりでなく、精神的にも追い詰められ、事故に結びつく可能性を高くする。
7. 費用をあまり切り詰めた研修にしないこと。費用を切り詰めるとどうしても危険なものとなるので、奨学金を含めて自分が用意する資金と実際に必要な費用とのバランスに配慮し、安全性には特に注意を払った計画を立てること。
8. スケジュールは具体的に決め、大学にも家族にも宿泊場所などをきちんと知らせて、いつでも連絡がとれるようにすること。行き当たりばったりの旅程にしないこと。
9. 訪問国の言語あるいは英語がある程度できること。
10. 事前に保証人の同意を得ること。

研修参加時の注意

①身の安全を第一に考える

海外では、予期せぬトラブルに巻き込まれる可能性もあります。常に自分の身の安全を第一に考えて、行動するようにしてください。また、トラブルに巻き込まれることがないように、予防策についても常に考えておく必要があります。また、自分の体調管理にも、十分ご留意ください。

② プログラムの実施・中止について

今後の国際情勢や感染症状況によっては、現地派遣が中止になる可能性があります。その点もご理解の上、プログラムへの参加をご検討ください。

大学の指定する日時に出国・帰国をします。滞在期間の延長は一切認めません。

③ 費用、支払い方法は念入りに確認！

研修費用を念入りに確認し、予算オーバーにならないようにしてください。支払い方法に関しては、クレジットカード払いのみというプログラムもあるかもしれません。

また、銀行で送金をしなければならないケースもあります。必ず事前に保証人の方と相談するようにしましょう。

④ 実りある留学にするために

留学をより充実させるには、事前の準備が重要です。語学の勉強はもちろんのこと、派遣先の歴史等について、予習をしましょう。また自分自身の留学後の目標等について、あらかじめ、考えておくことも重要です。



申し込み方法

①ポータルサイトより申込書をダウンロード

ポータルサイト>キャビネット>5.留学支援

>1.留学・語学研修>3.【短期】春期研修

※**個人企画型の学生は教員の推薦書が必要**ですので、

併せてダウンロードしてください。

推薦書を依頼する際は、記入済みの申込書も指導教員へお渡しください。

②記入例を見ながら必要事項を入力

③データ名を「学籍番号_春期研修申込書」に変更

例) 261A00000_春期研修申込書

④申込書を以下のフォームより提出

提出先：<https://forms.cloud.microsoft/r/W63P9EsRkq>

申込期間：10月13日（火）～10月16日（金）14：00

※推薦書は10月16日（金）14：00までに、所属キャンパスの国際交流センターへ提出（窓口またはメール）いただくよう、指導教員へ依頼してください。

※メールで問い合わせの際は、本文に氏名・学籍番号・連絡先を明記の上、以下までご連絡ください。

問い合わせ先

・品川国際交流課 ☎ 03-3492-0377 ✉ oinet@ris.ac.jp

・熊谷国際交流課 ☎ 048-536-6011 ✉ kint@ris.ac.jp

国際交流センター長からの メッセージ

国際交流センター長のウンサーシュッツ ジャンカーラ先生（心理学部）より、海外研修を志す皆さんへメッセージです。

語りたくなるような思い出を作りましょう！

8月の中旬。バスのドアが開き、乗客全員が入国手続きのために一度降りるよう指示されました。ここはカナダとアメリカの国境で、ニューヨークのポートオーソリティでバスに乗ったのは約6時間前でした。

まわりの標識が急にフランス語と英語の併記（正確に言えば、フランス語が先）に変わり、どこを見ればよいのか戸惑いながら案内所に入り、列に並んで順番を待ちました。海外はもちろん、国内でも一人でこれだけ遠く離れた場所に行くのは初めてだったので、待ちながらいろいろと考えてしまいました。引っかかるようなものは何も持っていなかったのですが、荷物検査を受けるのかな、何か言われるのではないかなと、やはり呼ばれるまでは心配してしまいました。

しかし、実際は拍子抜けするほどあっさり終わりました。ドキドキしながらパスポートを差し出し、スタンプを押してもらいました。入国手続き、終了！

こうして、緊張とともに人生初めての留学が始まりました。本当に大丈夫なのか、その後も不安になることがたびたびありましたが、時間とともに薄れていきました。様々な経験をして、多数の国を訪れても、そのバスでの国境越えだけは鮮明に覚えています。「17歳だった自分の、ちょっとすごい話」として、こうして披露することが未だにあります。

この文章を読んでいる皆さんの中にも、留学への不安を抱えている学生がいると思います。それでも、ぜひ、緊張いっぱい、思い出いっぱいの春休みを過ごしてほしいです。立正大学の春期研修プログラムは比較的短期なものが多く、初めての留学として特におすすめです。



留学で何が得られるのか、行くまでは誰も断定できません。しかし、言えることは、行かなければ得られないことは確実にあるということです。国際交流センターでは、その不安を少しでも減らすようにフォローし、サポートをします。皆さんもぜひ、一緒に一生語り続けられる思い出を作ってみませんか。